

優しさのおもてなしを

ホスピカインド

vol. 68
2019 SUMMER

ホスピカインドとはhospitality(親切なもてなし)とkind(優しさ)の2つの単語を合成した造語です。翔仁会の願いがこめられています。
この情報紙は輪厚三愛病院の機関紙です。

夢の扉 医者はお酒に寛容?

病院紹介

- ◆外来受診のご案内
- ◆A病棟 紹介
- ◆B病棟 紹介
- ◆リハビリテーション・言語聴覚士とは
研修会参加のお知らせ

翔仁会グループ
経営(診療)理念

『夢』

すべての利用者様に医療・福祉を介して
「夢」を実現する。
（「夢」とは心が満たされることである。）

wkm 輪厚三愛病院 基本方針

私たちは患者様とご家族様に、『夢』を提供します。
患者様とご家族様の笑顔が私たちの『夢』です。

- 1 私たちは、利用者様の尊厳と権利を重んじ、常に謙虚な気持ちで接します。
- 2 私たちは、プライマリーケアの精神を尊守し、実践します。
- 3 私たちは、プロとしての自覚をもち、質の高いサービスを提供します。
- 4 私たちは、常に最新の知識を学習し、自己研鑽の努力を怠りません。
- 5 私たちは、*EBMに基づき、インフォームドコンセントに努めます。
- 6 私たちは、よい職場環境を構築し、チーム医療を円滑におこないます。

*EBM (Evidence Based Medicine) 実証に基づいた医療

医者はお酒に寛容？

至極当然のことであるが医者は健康の番人、医療のスペシャリストだ。日夜患者様のために身を削りながら働いている。もちろん健康にいいこと、悪いことなどは知り尽くしているはずだ。ところが一方で「医者の不養生」なる格言もまことしやかに都市伝説のごとく大昔から言われているのも事実。からだによくないといわれるトップバッターは何と言っても喫煙だろう。私が大学に入学した昭和52年当時、同期の喫煙率は優に60%を超えていたと思われる。階段教室の後方では休み時間になるとあちらこちらで一服が始まる。あまり大きな声では言えないが医師も外来診察の合間に診察室のデスクで喫煙が許されていた。呼吸器科の某教授も愛煙家であった。きみまろではないがあれから40年、一般人の喫煙率30%に対し医師の喫煙率は10%を下回っている。やはり医師たるもの患者様のお手本にならなければと禁煙された先生が大勢いるに違いない。

さてお酒に関してはどうだろう？嗜好品で体に悪いものランキングのなかで喫煙の次にランキングされるのはなんといってもお酒である。アルコールに起因する疾患をあげると枚挙にいとまがない。

ただお酒とたばこの違いはお酒には少なからず健康にプラスになる要因があることだろう。適量の晩酌は健康寿命を伸ばすとかフランス人が長生きなのはワインに含まれるポリフェノールのおかげだとかいろいろ言われているのも事実だ。

SNSに医師の飲酒に関してアンケート調査を行った結果が出ていた。それによると飲酒の機会、飲酒量ともに一般人とほとんど変わりがなかった。健康のスペシャリストである医師がなんとお酒には実に寛大なのだ。患者様の前ではアルコールは1日20g以下にしなさいとか言っておいて自分ではかなりの量を飲んでいる医師がいるのだ。(私もその一人であるが)もちろん毎月肝機能はチェックしているが異常ないからとかエクスキュースされている先生が多いのだが。

私の周りの先生をみても禁煙者は多いものの禁酒されている先生はほとんどいない。私も適量ははるかに超えていると確信しているがどうも医師はお酒には寛容の先生が多いようである。

理事長
對馬伸泰





外来受診のご案内

当外来は、医師11人が曜日別に診療を行い、看護師6名が勤務しております。

地域に根差した地域高齢者の医療・介護を中心としており、長くお付き合いをさせていただいている患者様も大勢いらっしゃいます。外来処置室からは四季折々の草花や野鳥を鑑賞でき大変喜ばれております。外来スタッフ一同親切・丁寧をモットーに患者様ひとりひとりに寄り添い、気配りの行き届いたサービスを提供したいと考えております。どうぞお気軽にお声掛けください。

診療科目

消化器科・呼吸器科・循環器科・整形外科・リハビリテーション科・皮膚科・歯科

内視鏡検査(経鼻・経口・大腸)、超音波検査、一般健診・特定健診、各種予防接種も承っております。
(曜日により休診の場合がありますので電話にてご確認ください)

専門外来

一般診療の他専門外来も承っております。

禁煙外来

本気でタバコをやめたい方
～保険適応ですが条件あり

嚥下外来

食事でむせる、飲み込みにくい等
～保険適応ですが条件あり

メタボリック外来

肥満でお悩みの方
～保険外診療の為1ヶ月約1万円

AGA外来

薄毛でお悩みの方
～保険外診療の為1ヶ月約1万円

訪問診療への取り組み

当院では一般診療の他、近隣の施設や患者様のご自宅へ訪問し診療を行う訪問診療を行っております。
詳しくは当院医療相談員にご相談ください。

**令和元年6月1日より火曜外来担当医師が
変更されましたのでご紹介します**

火曜日午前 沼田 隆明 医師

輪厚三愛病院で6月より外来にて診療・検査をしています。
内科、消化器科が専門です。
ドライブや自転車が趣味ですが、内視鏡検査も大好きですので
皆様のお役に立てればと思います。
宜しくお願ひします。



略歴

昭和57年 札幌医科大学卒業
平成2年 清田内科消化器科病院
平成19年 広尾町国民保険病院

資格

内科学会認定医
消化器病学会専門医
産業医



A病棟(障害者病棟)

～障害者病棟とは～

パーキンソン病や筋萎縮性側索硬化症などの神経難病の患者様、脳卒中など寝たきりで意識障害のある患者様の治療・看護・リハビリを行う病棟です。重度の意識障害がいや脊髄損傷などの重度肢体不自由の方、神経難病などの方が主に入院対象となります。

障害者手帳は必要ありません。

2A 病棟

ベッド数 34床

担当医 木下 淳(呼吸器科) 安念 俊二(整形外科)

輪厚三愛病院は地域に根ざした病院であり、また、2A病棟は急性期の治療を終えられた患者様を受け入れ、治療の継続・在宅療養に向けての援助を行っています。

2A病棟では、呼吸器を専門にする医師がいる為、肺炎などの呼吸器疾患の方が入院していましたり、整形外科の医師がいる為、骨折やリハビリ目的での入院患者様がおります。

多くのスタッフがチームワークの良さを感じていて、このことがより良い看護・介護に繋がっているのだと思います。

常に、患者様の状況に応じた声掛けをしながらケアを行っています。また、どうぞご家族の皆様も気軽にお声をかけていただいて、患者さまの様子をお尋ねになってください。スタッフ一同、笑顔・丁寧を第一として、患者様・ご家族様に寄り添えるよう心掛けています。

3A 病棟

ベッド数 25床

担当医 村上 研(消化器科)

主に脳血管性疾患や嚥下機能障害などの患者様が治療、リハビリに励んでおられ、嚥下造影検査(VF)を行い嚥下の評価を行い、言語聴覚士(ST)・栄養士と共に栄養方法の検討を行っております。必要な栄養を口からうまくとれない患者様には胃瘻造設もおこなっています。また人工呼吸器設備も備えています。

当病棟スタッフは元気で明るいだけではなく、思いやりややさしさをもった親身な対応を心がけ、患者様が安心して治療、療養ができるような気配り、心づかいを第一に考えた看護を提供しています。





B病棟(医療療養病棟)

～医療療養病棟とは～

病状は比較的安定しているが引き続き医療的なケアや病院での療養が必要な患者様を対象にご利用いただく病棟です。そのため、当院では医療区分2・3の方を中心にご入院いただいております。急性期が過ぎ、慢性期に入った患者様が療養をしながら、医療・看護・介護を受ける事のできる病棟です。

患者様にとって必要な治療は継続して受けられるので安心です。

2B 病棟

ベッド数 39床

担当医 寺本 順子(消化器科)

女性医師のもと、経験豊富なスタッフが揃い、看護、介護の質を高める事を常に目指して、日々取り組んでいます。また栄養科やリハビリテーション科などとも情報を共有して連携しながら、患者様に安心して穏やかな日常生活を送って頂けるように願っています。

笑顔と親身な姿勢で、お話に良く耳を傾け丁寧な対応を心がけていますが行き届かない所や、何かお気づきの点などがございましたら、是非気軽に声をおかけください。



3B 病棟

ベッド数 48床

担当医 馬原 克夫(消化器科)

急性期の治療を終えられた患者様の継続治療や、在宅・施設等に向けて穏やかな療養生活が送れるよう、院内各機関の専門職員と連携しながら支援しています。

スタッフの年齢は若く元気な20代から、経験豊かな60代までと幅広く、日々のカンファレンスでは、1人1人の患者様により良いケアが提供出来るよう皆で意見を出し合い、真剣に取り組んでいます。御面会の際、お気づきの点やご不明な事等ありましたら、些細なことでもどうぞご遠慮なく申し出ください。





リハビリテーション ～言語聴覚士とは～



「Speech-Language-Hearing-Therapist」を略して「ST」です。

病気や生まれつきの障害などによって、話す・聞く・食べる・飲み込むことに不自由がある人に対して、言語・聴覚機能(話す・聞く)、嚥下機能(食べる・飲み込む)などを回復させるリハビリを行う仕事です。

文字や絵で言葉を引き出し、言語能力向上を図ることや、拡大代替コミュニケーションを検討・導入し訓練すること、呼吸や発音の練習、舌や口唇、頬の体操、さらに、食形態・食事姿勢・安全な飲み込み方・介助方法の検討・指導などリハビリ内容は多岐に渡ります。

VF

嚥下造影検査(VF)はバリウムなどの造影剤を含んだ食事をX線透視下で食べてもらい、誤嚥や残留の有無、器質的・機能的異常の有無、嚥下運動や適切な食形態、食事姿勢を評価・診断する検査です。

当院でも他職種と連携を図り月に3症例程行っており、必要性が高い状態にあります。



本院STのアピールポイント

- 栄養ミーティングを実施しており、ST全スタッフと栄養士、法人内の老健・有料介護老人ホームの栄養士と連携し、食事内容(主に形態)についての話し合いを行っています。
- 積極的にVFを実施している他、北広島市内～近郊を中心に嚥下外来を実施しており、嚥下機能のリハビリを行っています。
- タブレットを使用し、コミュニケーションに活用しやすい教材の検討、導入を実施しています。



研修会参加のお知らせ(平成31年4月～令和1年6月)

内 容	所 属	人 数
日本糖尿病学会	理事長	1
日本老年医学会	理事長	1
第18回北海道口腔ケアセミナー	医師	1
第19回摂食嚥下リハビリテーション北海道地区研修会	医師	1
第128回日本補綴歯科学会学術大会	医師	1
食と健康支援ネットワーク	医師	1
第37回日本顎咬合学会学術大会	医師	1
退院支援の基礎知識 研修会	看護部長	1
第23回北海道抑制廃止研究会	看護部	4
圧とずれの徹底排除による褥瘡発生予防	看護部	2
現場に活かせるリスクマネジメント基礎編	看護部	2
はじめよう看護研究	看護部	1
看護師のクリニカルラダーを活用した施設内教育	看護部	1
北海道看護研究学会	看護部	1
デスカンファレンス導入による終末期ケアの振り返りと今後の課題について研究発表	看護部	4
看護サービスの質管理研修会	看護部	1
北海道地区床ずれセミナー	看護部	2
メディカルケアサポートセミナー	看護部	5
認知症ケア	看護部	1
サービスの基本的概念	看護部	1
今こそベテランナースの力を活かすとき	看護部	2
がん化学療法の基礎知識	看護部	1
第23回北海道抑制廃止研究会	リハビリ科	3
SJF技術のステップアップ	リハビリ科	1
骨格・筋膜テクニックセミナー	リハビリ科	3
第19回摂食嚥下リハビリテーション北海道地区研修会	リハビリ科	4
第4回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	リハビリ科	1
離床で急変の恐怖から患者を守る—循環アセスメント講座	リハビリ科	2
慢性期医療の今日的課題	リハビリ科	2
トリガーポイントリリース膝、足部編	リハビリ科	1
拘縮肩に対するリハビリテーション	リハビリ科	3
神経難病患者の評価と治療	リハビリ科	1
第66回北海道薬学大会	薬剤科	3
第18回北海道口腔ケアセミナー	歯科	1
2.1クラブ例会参加	事務長	1
富岡広治法律事務所講演会	総務課	1
第49回札幌市脳卒中地域連携パスネット協議会	医療福祉課	1
第62回北海道医療ソーシャルワーク学会	医療福祉課	1

臨床における倫理に関する方針

基本的人権はもとより、当院の「基本理念」「基本方針」「職業倫理規程」「個人情報保護規程」等に基づき、すべての職員が臨床におけるさまざまな問題に対応し、患者様にとってもっとも望ましい医療を適切かつ十分に提供することを目的として、臨床に関する方針を次のとおり定めます。

1. 患者様の人権を守ります。

- 1) インフォームド・コンセントを徹底します。
- 2) 患者様の立場に立ち、良好な信頼関係を築きます。
- 3) 患者様の個人情報やプライバシーを保護し、守秘義務を遵守します。

2. 患者様・ご家族様の自己決定権を尊重します。

- 1) 検査、治療方針等の選択に当たっては、患者様・ご家族様の意思を尊重します。

3. 患者様の個人の信条、価値観に十分配慮し生命倫理に関する法令、ガイドラインを遵守します。

- 1) 身体抑制に関しては当院のマニュアル、基準に従い慎重に対応します。
- 2) 終末期医療についてはご家族様の意見も十分配慮しながらガイドライン・法令を遵守し対応します。(厚労省・日本医師会ガイドラインに準じる。)

4. 診療上、倫理的な問題が生じた場合は、倫理委員会で審議を行い方針を決定します。

患者様の権利

当院は、患者様の権利を尊重し、信頼関係に基づいた良質な医療を提供することをめざして「患者様の権利」を宣言します。

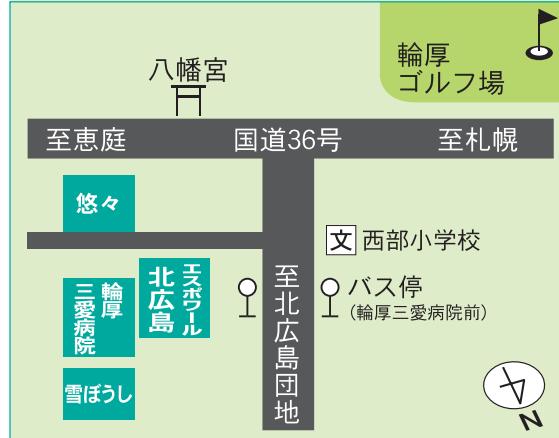
1. 平等に適切な治療を受ける権利があります。
2. 診療内容の十分な説明を受け、治療を受けることを承諾するかあるいは拒否する権利があります。
3. 診療記録の開示を求める権利があります。
4. 個人情報や医療情報の秘密を保持される権利があります。
5. 文化的背景や価値観と同じく、個人の尊厳及びプライバシーを常に尊重される権利があります。



紹介と案内図

翔仁会

- 輪厚三愛病院 TEL(011)377-3911
介護老人保健施設エスパワール北広島 TEL(011)376-3911
居宅支援相談センター「きぼう」 TEL(011)376-3911
北広島市にし高齢者支援センター TEL(011)370-3922
グループホーム「雪ぼうし」 TEL(011)377-3914
介護付有料老人ホーム「悠々」 TEL(011)377-1101



外 来

- | | | |
|---------|-------|---------------|
| 医師 消化器科 | 対馬 伸泰 | 村上 研 |
| | 寺本 順子 | 馬原 克夫 |
| | 沼田 隆明 | (火曜日午前のみ) |
| 整形外科 | 安念 俊二 | (金曜は午前のみ) |
| 呼吸器科 | 木下 淳 | |
| 皮膚科 | 松坂 英信 | (月/火午後/木/金午前) |
| 循環器内科 | 斎藤 泰史 | (金曜日午前のみ) |

診察時間／午前 9:00～12:00
午後 1:00～5:00
土曜・日曜・祝日休診

歯 科

- 医師 對馬眞智子 田外 智洋
診察時間／午前 9:00～12:00
午後 1:00～5:00
土曜・日曜・祝日休診

リニューアルしました！
翔仁会ホームページ

<http://www.shojinkai.or.jp>

院長ホットファックス 011-377-7790

院長へ直通のファックスダイヤルです！何かお気付きの点がございましたらお気軽にご利用くださいませ。